

2025/1月

TSUDOI

【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(1月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆ 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

◆ 『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

継続分析レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待

できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

過去にGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
ORDI	2023年 11/10	Starknet	2024年 3/8	Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9,9/26,11/1, 11/22, 12/6
Celestia	2023年 11/17	Manta Network	2024年 3/8, 7/5	MANTRA	2024年 7/19
Blur	2023年 11/24	Axelar	2024年 3/14	Jupiter	2024年 8/2
Terra Classic	2023年 12/1	Biconomy	2024年 4/5	Aerodrome Finance	2024年 9/20
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Metis	2024年 4/26, 5/10	Worldcoin	2024年 11/1
Raydium	2024年 11/22	Taiko	2024年 6/7, 11/13		
Virtuals Protocol	2024年 12/13	Hyperliquid	2024年 12/20		

Celestia : TIA

直近の注目ポイント：2024年12月 アップグレード『Ginger』への注目

2024年12月にCelestiaのMainnet Betaで導入が始まったGingerアップグレードは、ブロックタイムの短縮やデータスループット向上などを理論通りに実現できるか、2025年前半にかけてオンチェーンデータで検証される段階にあり、その結果次第では、モジュラーブロックチェーンとしての競争力が大きく左右される見込みで、今後は1GBブロックの実証更なるアップグレード検証に注目が一段と集まる状況となっています。

Ethereum Name Service : ENS

直近の注目ポイント：zkEVM活用によるコスト削減と高速化で広がるENSの可能性

ENSは2025年1月現在、zkEVM技術を活用した独自のLayer2「Namechain」導入が直近の話題。コスト削減と処理能力向上が見込まれ、DeFiやNFTなどへの利用拡大が進む期待が高まります。特にConsensys（Linea）との連携が技術的信頼性を高め、市場への影響度を増しています。

Raydium : RAY

直近の注目ポイント：パーペチュアル先物導入で加速するRAYトークンの成長要因

パーペチュアル先物（無期限先物）の導入やOrderly Networkとの連携強化による取引量と流動性の向上がRAYトークン価格に対してポジティブな影響をもたらす直近の主要な要因とされており。また、公式Xアカウントが直近2か月間で毎月1万人規模の新規フォロワーを獲得している点もプロジェクトへの関心度上昇と評価され、今後の価格上昇につながる好材料として注目されており、Solanaエコシステム全体の拡大にも寄与すると期待されています。

Virtuals Protocol : VIRTUAL

直近の注目ポイント：Virtuals Protocolのユースケースへの期待とインフラ銘柄の重要性

Virtuals Protocol（VIRTUAL）はAnimoca Brandsとの連携でAIエージェント×ゲーム融合を推進。また、AI×クリプト市場は新興で多くのプロジェクトが乱立している一方、需要の裏付けに乏しく、市場動向によっては大量淘汰が懸念されます。こうした状況に備えるには、将来的にインフラとして残る可能性のある銘柄に注目しつつ、慎重なリスク管理とプロジェクト選定を行うことが投資家にとって重要となります。

Starknet : STRK

直近の注目ポイント：L2競争とエコシステム拡大を示す好材料

StarknetはZK-STARK技術の量子耐性やSN Stack導入によるアプリチェーン開発の柔軟性を背景にユースケース拡大とトランザクション増加が見込まれ、レイヤー2は競争が激しく、市場センチメントや他プロジェクトとの比較でトークン需要や価格が変動しやすいため慎重な判断が必要ですが、量子時代を見据えた技術優位や投資家の評価が高まればエコシステムの拡大と採用事例の増加が期待できます。実際、STRKベースのTVLは直近1ヶ月で約4割上昇しており、停滞からの回復傾向が見られる点は将来性を示す好材料といえます。

Hyperliquid : HYPE

直近の注目ポイント：バリデーター拡大とRouter Protocol統合による投資家利便性の向上

直近、Hyperliquidのバリデーター拡大計画やHYPEトークンのステーキング拡張は、ネットワークの分散化とセキュリティ強化に直結し、投資家の信頼を高めることでトークン需要を押し上げる要因となっています。また、Router Protocolとの統合により、30以上のブロックチェーンからの直接デポジットが可能となったことで、エコシステム全体の流動性が向上し、トークンの取引量増加が期待されます。特に、スムーズな資金移動が投資家の利便性を高め、話題になった当初は購入が困難だったことによる参入障壁を取り除き新規参入者の増加や既存ユーザーの取引拡大につながる可能性があります。

Jupiter : JUP

直近の注目ポイント：JUPトークン大規模エアドロップ&バーン計画への期待

JUPトークンを対象とした[大規模エアドロップを2025年1/18~24に実施予定](#)です。総供給量の50%がコミュニティに割り当てられ、参加条件は最低800ドルの取引量です。この取り組みは、参加者への報酬提供と流動性向上を目的とし、[1/25のCatstanbulイベントで30%のトークンがバーンされる計画](#)も含まれます。これにより、新規ユーザーの誘引や既存ユーザーの忠誠心が強化され、Jupiterのエコシステム拡大が期待されています。

Aerodrome Finance : AERO

直近の注目ポイント：Uniswap主要プール超えてDeFi業界3位に躍進

直近の情報によると、[Ethereum Mainnetに匹敵する取引量を誇り、Uniswapの主要L1+L2プールを上回るETHやBTCの取引量を達成](#)しています。この実績により、DeFi全体で3位の取引量を持つDEXとなり、高い流動性と効率的な取引を提供しています。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

Axelar : AXL

本銘柄の創設者のコメントから、2025年はAxelarやブロックチェーン業界の転換期とされ、ジョージオス氏の「クロスチェーン取引増加」「XRPのDeFi参入」や、セルゲイ氏の「Appchain台頭」「RWA拡大」などの予測が、高度な相互接続と大手金融機関の参入を示唆されます。69以上のチェーンに接続するAxelarはSolanaやFlowとの連携も計画し、こうした未来像を支える基盤を整えつつあり、2025年の動向に注目が集まります。

Metis : METIS

MetisのDSEQ Rebootは、ArtemisやENKIのLST導入促進により報酬強化やTVL実績向上が期待されます。分散型センサーとの連動で新たな価値を創出し、15,000 \$METISの還元によりユーザー利益とDeFi活性化が進行。これによりエコシステムの拡張性や採用率が向上し、プロジェクト価値を大きく押し上げる重要な要因となります。これらのアップデートにより、オンチェーンデータなどの実績ベースで成果を示すことが、信頼性とプロジェクト成長の鍵となります。

Ondo : ONDO

1月18日にONDOトークンが約22.3億ドル相当（1.94億枚）解放され、現在の流通量の130%以上に達します。以前より公になっていることから影響は限定的な可能性はありますが、短期的な売り圧力への懸念があります。一方で、Ondo FinanceはPlume Networkとの提携により、米国債利回り商品（USDY）の利用を拡大し、長期的にはエコシステムの成長を促進する動きが見られます。

MANTRA : OM

MANTRAはドバイのDAMACグループと提携し、中東で10億ドル相当の不動産をトークン化する計画を発表しました。トークン化により資産の流動性とアクセス性が向上することが期待されています。この取り組みは、ドバイのデジタル資産ハブ化を後押しする一方、法的枠組みや透明性の確保、具体的な実績の有無などが今後の課題となります。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：ORDI、Manta Network、Biconomy、Worldcoin

徐々にフォロワー減少中：Blue、Terra Classic、Taiko

過去週次レポート掲載 大穴銘柄 継続分析ガイド

Goodマーク大穴・新規銘柄の継続調査

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

過去にGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Arkham	2023年 11/30	ether.fi	2024年 3/22	Taiko	2024年 6/7
Xai	2024年 1/19	Ethena	2024年 4/5	io.net	2024年 6/14
Manta Network	2024年 1/19	Wormhole	2024年 4/5	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5
Ondo	2024年 1/26	Saga	2024年 4/12	LayerZero	2024年 7/5
Metis	2024年 1/26	Omni Network	2024年 4/19	SaucerSwap	2024年 11/22
Dymension	2024年 2/9	Merlin Chain	2024年 4/26	Morpho	2024年 12/6
Aevo	2024年 3/14	BounceBit	2024年 5/17	NAVI Protocol	2024年 12/13
Origin Protocol	2024年 12/6	Orca	2024年 12/13	DeepBook Protocol	2025年 1/10
Velodrome Finance	2024年 12/20	Pangolin	2024年 12/20		

※Manta Network、Metis、Taikoは、中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

Ethena : ENA

直近の注目ポイント：Ethenaの2025年ロードマップに対する期待感

発表されたEthenaの2025年ロードマップによると、Telegram連携のsUSDe決済アプリや、トラディショナルファイナンス（TradFi）向けに設計された新しい合成ドル「iUSDe」が注目点。iUSDeはトークンレベルでの転送制限を持ち、資産運用会社やプライムブローカー向けに提供される予定です。特に、トラディショナルファイナンス市場の巨大な資金を取り込むことで、ENAトークンへの関心や取引量が増加することが期待されます。また、iUSDeの導入は資産運用やブローカー向けの利用を促進し、安定的な需要を支える基盤となるでしょう。

io.net : IO

直近の注目ポイント：Injectiveとの提携による期待感

InjectiveのiAgentと連携することで、ブロックチェーン上での大規模処理を分散化しつつコスト削減と拡張性を実現可能に。さらにGPU価格やデータフィードをDeFiエコシステムへ統合する構想は新たなユースケース創出を見込めます。こうした取り組みは、AIとDeFiの融合という新市場を切り拓き、io.netの基礎的価値を高める要因と考えられます。一方で、競合との技術競争や規制面でのリスクが残る点は要注意となります。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

Saga : SAGA

Sagaは、先月Mainnet 2.0でUniswap v3を統合し、ガスレス取引を実現、流動性プールを活用してネットワーク内の流動性を強化すると発表。さらに、2025年第1四半期に導入予定のLiquidity Integration Layer (LiL)がクロスチェーン流動性を統合し、資産移動を円滑化します。これにより、ブロックチェーン間の相互運用性を高め、DeFiの利便性向上とユーザー体験の革新が期待されています。

Orca : ORCA

SolanaのDeFiエコシステムはイーサリアムに近い採用レベルへと成長し、投資家やユーザーの注目度が急上昇しています。その結果、OrcaやRaydiumなどSolanaを基盤とするDeFiトークンの需要や価値がさらに拡大し、エコシステム全体の活性化が期待されています。特に高速取引や低手数料が強みであり、今後も大きな飛躍が予想されます。

Morpho : MORPHO

BaseネットワークのDeFiエコシステムは、昨年大幅に成長し、投資家やユーザーの注目度が上昇しています。その結果、MorphoなどBaseを基盤とするDeFiトークンの需要や価値がさらに拡大し、エコシステム全体の活性化が期待されています。

Navi protocol & DeepBook Protocol

SuiネットワークのDeFiエコシステムは、昨年大幅に成長し、投資家やユーザーの注目度が上昇しています。その結果、Suiを基盤とするDeFiトークンの需要や価値がさらに拡大し、エコシステム全体の活性化が期待されています。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Xai、Aevo、Velodrome Finance、ether.fi、Wormhole、Omni Network、Merlin Chain、BounceBit、Pangolin、Artificial Superintelligence Alliance、LayerZero、SaucerSwap
徐々にフォロワー減少中：Arkham、Dymension

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>